

清里小中学校一貫教育グランドデザイン

清里小学校



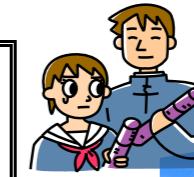
上越市学校教育目標

ふるさと上越を愛し、学ぶ力、豊かな心、健やかな体をもって、自立と共生ができる子どもを育てる。
～夢や志をもち、たくましく生きる人づくり～

新潟県が目指すひとづくりの姿

基本理念: 個を伸ばす教育
～一人一人の個性を尊重し、伸ばしていく教育の推進
～ふるさとへの愛着と誇りを胸に、
粘り強く挑戦し未来を切り拓くたくましいひとづくり

清里中学校



清里中学校

清里小中学校の児童生徒の実態

- ・地域の「ひと・もの・こと」とかかわり、進んで活動できる。
- ・自主的に考え行動したり、自他を尊重して生活をよりよくしていこうとする力が十分でない。
- ・話をしっかり聞き、自分で考えたり表現したりする力が十分でない。
- ・体力向上やメディアとのかかわりなどへの意識の差が大きい。

9年間を通して求める児童・生徒像
ふるさとを愛し、豊かな心と行動力をもち、たくましく生きる子ども
～自ら進んで取り組む子(自主性)自他のよさを認め、高め合う子(協調性)～

- ・豊かな感性や思いやりの心をもつ子どもの育成
- ・仲間と協力して物事を行う子どもの育成
- ・夢や希望をもつ子どもの育成

小中一貫教育で期待される効果

- ・「ふるさと清里」を愛し、誇りに思う子どもの育成
- ・自ら進んで取り組み、自他のよさを認め、高め合う子どもの育成
- ・協働的につながり、主体的に課題解決する子どもの育成
- ・小中学校・家庭・地域が相互に連携した生活・学習・運動習慣の確立

学力向上に向けた取組

- 主体的・対話的に学ぶ授業づくり
 - ・子ども同士がかかわる場面の意図的な設定とフィードバック
 - ・子どもが目標やゴールを決めて活動し、まとめ・振り返る学習活動の設定
- 生活科・総合的な学習の実践と評価
 - ・「ふるさと、キャリア」を基軸とする生活科・総合的な学習の実践
 - ・学校運営協議会と協働したカリキュラムの評価改善

豊かな心の育成に向けた取組

- 小中一貫した計画による道徳教育の充実
 - ・かかわりの中で自己の生き方を考える道徳科授業の実践
 - ・道徳科の視覚的カリキュラムの見直しと共有
 - ・「德育の日」を生かした保護者との協働
- 差別や偏見を許さない、あたたかな人間関係づくりの推進
 - ・小中一貫した同和教育の授業実践と授業研究の取組
 - ・一人一人を大切にした特別活動、学級づくり、「かかわる同和教育」の推進

健康・体力の向上に向けた取組

- メディアルールの確立と生活習慣改善週間の取組
 - ・家庭と協働したアウトメディアの取組とルールの確立の取組
 - ・自分自身への課題の気付きと改善を促すメディア強調週間の設定
- 運動の日常化と体力面の課題解決につなげる取組
 - ・運動への意欲と達成感がもてる体育授業の推進
 - ・体力テストを活用した授業改善
 - ・自然と運動に親しむ場の設定と働き掛け

- 【合同会議】 知育、德育、体育などの取組の評価改善、研修会などを小中合同で行い、教育課題の解決を目指す。
- 小中一貫教育 → 【推進委員会】 小中一貫教育のめざす子どもの姿、グランドデザインなど基本的な方向性を示したり、各プロジェクトの連絡調整を行ったりする。
- 小中一貫教育 → 【専門部会】 「学力向上」「豊かな心」「健康体力の向上」の各専門部が中心となり、9年間を見通した共通取組事項を設定し、評価改善を行う。

	9年間で育むべき資質能力			
	小学校 低学年	小学校 中学年	小学校 高学年	中学生
学力	<ul style="list-style-type: none"> ●人の話を聞き、思ったことを進んで話すことができる。 ●身の回り「ひと・もの・こと」と存分にかかわり、そのよさや変化に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の考えをもち、聞き合ったり、話し合ったりすることができる。 ●清里の自然・伝統・文化を調べたり、体験したりしてそのよさや価値を実感する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の考えをもち、聞き合い、話し合いながらで深めることができる。 ●清里で農業体験や林業体験をしたり、清里に生きる人の生き方に触れたりして、ふるさとに生きるよさや価値を追究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自ら考え、他者と学び合い高め合うことができる。 ●清里の自然や伝統、産業などを探究したり、地域社会を見つめ直したりして、地域社会の一員としてできることを考えたり、実践したりする。
豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> ●だれとでも仲よく活動しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●互いのよさに気付き、仲よく協力して活動できる。 ●自他を大切にし、励まし合い、助け合って活動しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●仲間とのかかわりを深め、互いを信頼し協力して活動できる。 ●自他の人権を大切にし、日常的な差別にも鋭敏に気付き、自ら解決しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自他のよさを認め、かかわりの中で温かい人間関係を築くことができる。 ●様々な差別問題や人権侵害を自らのことと関係付けてとらえ、部落差別問題を根絶する生き方を真剣に考える。
健康体力	<ul style="list-style-type: none"> ●自分のことができ、規則正しい生活を送ることができる。 ●運動の楽しさを味わい、仲良く楽しく運動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分のことができ、基本的生活習慣が定着できる。 ●運動の楽しさを味わい、最後まで努力して運動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活習慣を見直し、めあてを立てて計画的に過ごすことができる。 ●運動の楽しさを味わい、自己の最善を尽くして運動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の健康に関心をもち、生活設計できる。 ●基礎的な運動の技能や知識を身に付け、それらを活用して自らの運動の課題を解決する。

児童・生徒間の絆を深める交流活動

- ◆小中学校の児童・生徒によるあいさつ運動の実施
- ◆小学校児童と中学校の生徒の交流活動の実施
 - ・運動会や体育祭への参加
 - ・相互訪問による交流
- ◆深めよう絆スクール集会(中学生と小学校6年生が参加)

小中の接続を円滑化・充実させる取組

- ◆小学校6年生への中学校の乗り入れ授業実施
- ◆中学校入学説明会・部活動体験、児童生徒間交流などの機会の設定
- ◆小中職員の定期的な情報交換、研修会の開催